

April 9th, 2023  
2023年、4月、9日  
Easter Sunday  
イースター・土曜日

## The Great Reversal 「大逆転」

みなさん、おめでとうイースター！

今日は、ルカの福音書24に記録されている復活祭の物語を見ていきます。これから8週間、ルカの福音書を学びます。

ルカによる福音書 24:1-12 「彼が立ち上がった」

“週の初めの日、夜明け前に、女たちは用意しておいた香料を携えて、墓に行った。”  
ルカによる福音書 24:1 口語訳

- 最小の日-8日目です。-新しい何かの始まり。
  - この物語はイースターを新たなスタートとして見るように誘います。あなたが創造された人生の始まり。すべての変化の始まり。
  - なぜ？

“ところが、石が墓からころがしてあるので、中にはいってみると、主イエスのからだが見当らなかった。”

ルカによる福音書 24:2-3 口語訳

- 墓は空だった。-混乱、畏怖、戸惑い…こらはどういう意味ですか？
  - この話はあなたにとって奇妙に思えますか？それは彼らにも起こりました。
  - まったく理解できないものに直面した時や、わかりました、あなたは何をしますか？

“そのため途方にくれていると、見よ、輝いた衣を着たふたりの者が、彼らに現れた。女たちは驚き恐れて、顔を地に伏せていると、このふたりの者が言った、「あなたがたは、なぜ生きた方を死人の中にたずねているのか。そのかたは、ここにはおられない。よみがえられたのだ。まだガリラヤにおられたとき、あなたがたにお話しになったことを思い出しなさい。”

## ルカによる福音書 24:4-6 口語訳

●彼らはその謎について考えました。たぶん、あなたは神に幻滅してしまったのでしょう。彼があなたを失望させたように感じるかもしれません。あるいは、すべてが信じられないと感じているかもしれません。あなたは良い仲間です。

●彼らにとっては、ただ死んでいるだけでなく...誰かに体を奪われたようで、まともに悲しむこともできない。

●女性たちは、墓の中で死んでいる希望と夢に立ち向かうことを期待して墓に到着しました。彼らの喪失を悲しみ、おそらく閉鎖をもたらすプロセスを開始することを望んでいます。しかし、それは個人的な希望や夢を超えています。それはあたかも彼らの信念体系全体が彼らに衝突したかのようでした。

●この世界の壊れた状態を元に戻すという彼らの希望は墓場で死んでいます。

●彼らの希望は、イエスが世界を救うことでした。代わりに、彼はそれによって破壊されました。

●どうしてこうなるの？

●そして...

●突然、思いがけないことが起こった...

●使者 - 「なぜ死者の中から生者を探すのですか？」彼はここにいません; 彼は立ち上がった！」

○これが大逆転。

■まるでイエスがコズミック ウノリバース カードをプレイしたかのようです。

■衝撃と当惑は、私たちの手がかりになるはずですが。彼らはこれをまったく期待していません。

■死んだ人は生き返ってはいけません。

●イエスのミニストリーの中で、イエスの神性に対する主張が正しいと思われる側面の1つは、人を死からよみがえらせたということです。なぜなら、死そのものを支配する力を持っていない限り、そのようなことは起こらないはずだからです。そして、神ご自身を除いて、他に誰が死に対する力を持つことができたでしょうか？

●それでも、イエス様は死に押しつぶされたようでした。

●しかし今、これらの存在は、イエスが引き抜いたと言っています。

究極のフレックス。

●彼は死そのものによって死を打ち負かした。

●死んでいない。彼は生きています。

●「彼は起きた」

●ユダヤ人の復活の神学には余地がありましたが、それは、神が死に眠るすべての人を目覚めさせ、復活させる未来の出来事と考えられていました。メシアがこれを行ったとき、それはこの壊れた人類の時代が終わり、新しい時代が到来したというしるしになるでしょう。

●メシアが死んで、今生き返ったということは、私たちはその時点にいるということですか。これはまったく新しい時代ですか？

- なんとなく未来の希望が今に届いている。
- これはどういう意味ですか？
- 物語は続く...

“すなわち、人の子は必ず罪人らの手に渡され、十字架につけられ、そして三日目によみがえる、と仰せられたではないか”。そこで女たちはその言葉を思い出し、”  
ルカによる福音書 24:7-8 口語訳

- 彼らは彼の言葉を思い出した -
  - これは、はるかに大きな物語の成就です。
  - 代々受け継がれてきた約束です。
    - ユダヤ人は話の一部を正しく理解していましたが、全体像を見る必要がありました。
    - イエスはこうなると言っていましたが、彼らは忘れていました。
    - リマインダーが必要だった。
    - 私たちらしくないですか？ 何に圧倒され、混乱するのか  
私たちが経験しているのは、彼が言ったことを忘れさせる原因です。
- ここに恥はない。いいえ、「なんてことだ！」指の波。
- でもリマインダー。

“墓から帰って、これらいっさいのことを、十一弟子や、その他みんなの人に報告した。この女たちというのは、マグダラのマリヤ、ヨハンナ、およびヤコブの母マリヤであった。彼女たちと一緒にいたほかの女たちも、このことを使徒たちに話した。ところが、使徒たちには、それが愚かな話のように思われて、それを信じなかった。”  
ルカによる福音書 24:9-11 口語訳

彼らはこれらすべてのことを 11 人に話しました... 「しかし、彼らの言葉はナンセンスに思えたので、彼らは女性を信じませんでした。」

- ほら... 復活は彼らにあまりにもクレイジーな話のようです。
- ここで、イエスは革命的であり、再び行きます。
- 1 世紀のユダヤ人の歴史家であるヨセフスは、著書「古代ユダヤ人」の中で、女性は「無謀で、無謀で、軽率で、せん越である」ため、信頼できる証人として信頼することはできないと書いています。
- グロス。笑。
- 何かが実際に起こったことを証明しようとしている場合  
当時、証人として女性を前に出すことは違法であり、賢明ではありませんでした。

- これは、ユダヤ人と異邦人の間で共有された 1 世紀の女性の視点だったかもしれませんが、それはイエスのものではありませんでした。
- 4 福音書すべてにおいて、復活の最初の証人は女性です。

○ イエスは常に、女性に対して急進的で革命的な見方をしてきました。  
これが、私がこれらの福音書を信頼する多くの理由の 1 つです。彼らが物語を作り上げようとしているなら、彼らは決してこれらの詳細を含めなかったでしょう。誰も彼らを信じなかったでしょう。

でも、彼らは作り話ではありませんよね？

● これはまた、イエスの使命を示しています。

○ 彼の仕事は、人間を神と和解させることであり、  
お互い。そうすることで、私たちは、

使徒パウロ、「一つの新しい人類」。

● 神は、人間のプロジェクトをこすり落とすことに関心がありません。シュレッター

最後のアトムまで宇宙を一周し、最初からやり直します。

(サノスにならず..)

○ 興味は更新です。私たちの心の中で、私たちの関係の中で、そして全体としての創造の一日。

● だから、イエスは、女性の固有の価値と尊厳を正当化する根本的な新しい倫理を超えています (それはそれですが、それ以上のことです!)

● 彼は、人間であることのまったく新しい方法を導入しています。

● ここに展示されているのは...

○ そして、福音書の筆者たちはとても確信しているので、

彼らの時代の宗教的および非宗教的な世界が言うことをすべて無視し、代わりに新しい人類を提示します。

● この話はまだ 11 節しかありませんが、復活はすでにすべてをひっくり返すような形で提示されていることがわかります。逆さまと右向き。

“[ペテロは立って墓へ走って行き、かがんで中を見ると、亜麻布だけがそこにあっただけで、事の次第を不思議に思いながら帰って行った。]”

ルカによる福音書 24:12 口語訳

● 「しかし、ピーター... ピーターを想像してみてください。数日前、彼はイエスに決して否定しないと断言しました。しかし、彼はそうしました。そして彼は走った。彼は隠れた。彼は自分の主と友人を呪い、裏切りました。

● イエスについての彼の最後の思い出の 1 つは、イエスが否定されたときのアイコンタクトだったでしょう。そして今、イエスは死んだ。行った。

● 後悔について話す。

● この瞬間は、この 3 日間、彼の心に焼き付いていたでしょう。私はできた苦しみを想像してください。出来ますか？

● 3 日間、彼は恥ずかしがり屋で座っていました。待つことが最も難しい場合があります。

○ でも主は生きてる？ それは可能性が？

■ 彼は墓に走ります。(ヨハネの福音書では、ジョンは自分が勝ったことを私たちに知らせています)

彼は徒競走でそこにいる)

● 絶望の中で起こることです。あなたは何をあまり気にしません

他の人は思う。あなたは少しばかりげているように見えます。ここ

墓に向かって走っているピーター(とジョン)です。 ■ しかも空です。

移行: ルークは素晴らしい作家です。彼は私たちを席の端に置き去りにします。私たちはこの物語を後知恵で読むことができますが、彼はそれをリアルタイムで体験できるように書いています。彼は私たちをもっと準備しています。これはどういう意味ですか? 彼はもっと言いたいことがあります — 13節。

## MVMT 2: The Road to Emmaus (Luke 24.13-29)

ルカによる福音書 24:13-29: エマオへの道

“この日、ふたりの弟子が、エルサレムから七マイルばかり離れたエマオという村へ行きながら、このいっさいの出来事について互に語り合っていた。語り合い論じ合っていると、イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩いて行かれた。しかし、彼らの目がさえぎられて、イエスを認めることができなかった。”

ルカによる福音書 24:13-16 口語訳

● ルカの福音書では、イエスがついに物語に登場します。ヨハネの福音書では、彼は墓の園で女性の一人、メアリーに出くわします。しかし、ルカは物語の別の点を強調しています...彼は、立ち去る2人のイエスの弟子に現れます。

● エマオへの道は私のお気に入りの1つです。それは本当に起こったことですが、人生はエマオへの道のようなものなので、私たちの物語でもあります。

● ちょっとお話ししましょう。クレオパとおそらく彼の妻はエルサレムを離れようとしていた。彼らはほんの数日前に過ぎ越しの祭りのように興奮と期待を持って街にやって来ました。それでも、今、彼らは深い恐怖と恐怖(イエスの弟子であった人には、ある種の異端審問が行われたことを思い出してください)と絶望を抱いて去りました。

● これをまとめて処理したところに、イエス様がいます。彼らと一緒に道を進んでください。

「しかし、彼らは彼を認識できませんでした。」

● 「エマオへの道は私たちの人生と同じ」という意味です。たとえ私たちが彼だと認識できなくても、イエス様は私たちと一緒に道を旅してくださいます。彼はいつも近くにいます。彼は、特に痛みの中で現れます。

● また... 復活したイエスの身体性がどこか違う。変身した身体。これは私たちが最初に得た手がかりの1つですが、重要であるため、今後さらに詳しく知る予定です。彼はそこにいて存在しているが、自分が認識されないようにすることができます。これを説明しようとすることもできますが、どんなにワイルドに聞こえるかもしれませんが、著者はこれを編集して、より信頼できるものにし、見栄えを良くすることができましたが、そうではありません。

- イエスは素晴らしい質問をします。それは私が彼について愛していることであり、エミュレートできるようになることを望んでいます...

“イエスは彼らに言われた、「歩きながら互に語り合っているその話は、なんのことなのか」。彼らは悲しそうな顔をして立ちどまった。そのひとりのクレオパという者が、答えて言った、「あなたはエルサレムに泊まっていながら、あなただけが、この都でこのごろ起ったことをご存じないのですか」。「それは、どんなことか」と言われると、彼らは言った、「ナザレのイエスのことです。あのかたは、神とすべての民衆との前で、わざにも言葉にも力ある預言者でしたが、”ルカによる福音書 24:17-19 口語訳

- 私はイエス様を愛しています。彼はとても心配していると思いますが、笑顔も抑えています。彼は彼らの心を吹き飛ばすことを知っていたように、同時に彼ら全員と一緒にいたかったのです。
- それで彼らは、イエス自身についてすべてを話し続けます。

「ナザレのイエスのことです。あのかたは、神とすべての民衆との前で、わざにも言葉にも力ある預言者でしたが、”“祭司長たちや役人たちが、死刑に処するために引き渡し、十字架につけたのです。わたしたちは、イスラエルを救うのはこの人であろうと、望みをかけていました。しかもその上に、この事が起ってから、きょうが三日目なのです。ところが、わたしたちの仲間である数人の女が、わたしたちを驚かせました。というのは、彼らが朝早く墓に行きますと、イエスのからだが見当たらないので、帰ってきましたが、そのとき御使が現れて、『イエスは生きておられる』と告げたと申すのです。それで、わたしたちの仲間が数人、墓に行ってみますと、果して女たちが言ったとおりで、イエスは見当りませんでした」。そこでイエスが言われた、「ああ、愚かで心のにぶいたため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。キリストは必ず、これらの苦難を受けて、その栄光に入るはずではなかったのか」。こう言って、モーセやすべての預言者からはじめて、聖書全体にわたり、ご自身についてしるしてある事どもを、説きあかされた。”

ルカによる福音書 24:20-27 口語訳

- ここの英訳は耳障りに聞こえます。この言葉はまた、無知、無知、または理解できないことを意味する場合があります。
  - 思い出してください、彼らはイエスを知っていました。イエス様と一緒に過ごしました。イエスの下で何年も学んだ。
  - 彼は彼らの先生です。彼らのラビ。そして、彼が教えてくれた教訓を覚えておく必要があります。
- 次に、イエスは彼らに聖書の全貌を話します。それは私が録音したいと思っていた聖書研究です。 :)
  - これは簡単に過ぎてはいけないポイントです。事実上、イエスは、聖書の物語(人類の物語でもある)の全体がこの瞬間に向けて構築されていたと言っています。すべての物語、すべて

の詩、すべての歌、すべての律法、チャート、預言者、系図、それらはすべてイエスを指し示しています。

○彼は物語のクライマックスです。

■繰り返しますが、彼は弟子たちに、この話はいつもそうだったと指摘しています。この方向に進みます。

■かつ

■すべてが積み重なった瞬間がやってきた。そして彼らは今、その物語の中で生きています。

○彼らはまだ彼を認識していませんが、彼の話聞いています。そして多分それは今日のあなたです。話を聞いて興味をそそられますが、まだ彼に会っていないかもしれません。大丈夫。道を歩きます。

“それから、彼らは行こうとしていた村に近づいたが、イエスがなお先へ進み行かれる様子であった。そこで、しいて引き止めて言った、「わたしたちと一緒に泊まり下さい。もう夕暮になっており、日もはや傾いています」。イエスは、彼らと共に泊まるために、家にはいられた。”  
ルカによる福音書 24:28-29 口語訳

● 私はイエス様を愛しています。彼は彼と一緒にさらに進んで喜んでいたでしょう。

● 夜の散歩は危険です。イエスは平気です。

● 散歩は7マイルで、イエス様は疲れていませんし、空腹でもありません。

○ 再び... 私たちはイエスの変容した身体性を垣間見えています。

トランジション: クレオパともう一人の弟子は、イエスがそこにいることを知らなくても、この(一見)見知らぬ人をもてなします。そして、これが物語が別の驚くべき方向に向かうときです。

ルカによる福音書 24:30-35 ターンアラウンド

“一緒に食卓につかれたとき、パンを取り、祝福してさき、彼らに渡しておられるうちに、彼らの目が開けて、それがイエスであることがわかった。すると、み姿が見えなくなった。”

ルカによる福音書 24:30-31 口語訳

● イエスは、ご自分が誰であることを明らかにする重要な瞬間を選びました。

○ 彼らは彼がこれをしているのを見た可能性があり、おそらく木曜日の夜でさえ、弟子たちと最後の晩餐をとりました... 裏切られた夜。

● すべてのゴスペルライターは、目に見えるよりもはるかに大きなことが物語の中で起こっているという手がかりを入れています。

○ 弟子たちとイエスは食事を共にし、「彼らの目は開いています」。

■ 私がイエスについて好きなことの1つは、彼がいつも食べるのが好きだったことです。

我々は持っています

共通すること。

- イエスは食事の時間にも、ご自分が誰であるかについて重要な発言をされました。
- 先ほど、これはすべて「週の最初の日」に行われたと述べました。8日目。新しい何かの始まり。
- Luke は、完全性を伝えるために7という数字をよく使用します。
- これまで、ルカの福音書には7つの食事が記録されています。8食目です。(あのタコベルの4回目の食事を取る)
- これで8食目！
- 新しい一日の始まりを象徴する8日目。8回目の食事  
同じことを言っています。これが新しい何かの始まりです。
- 聖書の物語全体がイエスを指し示していることはすでに述べました。○ストーリーに少しでも詳しい方... 最初のストーリーを覚えていますか？  
食事は聖書に記されたとおりでしたか。

■ 創造の最初の食事 - サタンに誘惑されたアダムとイブ - この壊れた世界の嘘つき、詐欺師、そして神 - は神に対する反逆の食事に参加します。結果は悲惨です。死、悲しみ、痛み、そして敵の時代は、神の良い創造物の間に蔓延しています。人類の肩には死の呪いがかかっています。 - テキストは文字通り「彼らの目は開かれている」と読んでいますが、何に対してですか？ 悪、そして彼らがかつて享受していた善き世界と善良な神を失い...そして彼らは痛みと恥辱を経験し、お互いを責め合い、神から身を隠します。そして、人類の物語は、私たちが神に反抗するとき、下向きのスパイラルです。それは不自然で、私たちの生き方に反しています。

■しかし今...

- 新創造の最初の食事—「そして彼らの目は開かれる」。痛み、恥、死、壊れの代わりに...
- 彼らはイエスを見る。
- そして、私のお気に入りのセリフの1つ... 32 節

“彼らは互に言った、「道々お話しになったとき、また聖書を説き明して下さったとき、お互の心が内に燃えたではないか」。”

ルカによる福音書 24:32 口語訳

- そして、これが私のあなたへの祈りです。この非常に正確な瞬間を体験するために。
- 「彼が道で私たちと話していたとき、私たちの心は私たちの中で燃えていた  
私たちに聖書を開いたのですか？」
- 燃焼 - 火を灯すこと、闇から光へと移行すること。
- つまり... 今まで経験したことのない生き方をした前。
- すべては、彼らがイエスの本当の姿をようやく見たからです。
- 救世主 はい。彼はこの壊れた世界の救世主です。

■神ご自身-はい。彼はそうです、そして彼は私たちを解放するために来ました。逆にするには  
呪い。

■宇宙の唯一の真の王-死そのものが-この地球の王が与えることができる最大の武器である場合、彼の前に頭を下げなければなりません...この男は誰ですか？ 死でさえ彼に逆らうことはできません。彼は真の宇宙の王です。

- 覚えておいてください: エマオへの道は、私たちが旅する人生の道のようなものです。
- 弟子たちはイエスが誰であるかを見て、何をしますか？

“そして、すぐに立ってエルサレムに帰って見ると、十一弟子とその仲間が集まっていて、「主は、ほんとうによみがえって、シモンに現れなされた」と言っていた。そこでふたりの者は、途中でであったことや、パンをおさきになる様子でイエスだとわかったことなどを話した。”

ルカによる福音書 24:33-35 口語訳

- 彼らはすぐに立ち上がり、エルサレムに戻った。彼らがたった今経験した 7 マイルの散歩は、疲れ果て、打ちのめされ、悲しく、そして恐ろしいものでした。
- イエスは生きておられます。彼は死を打ち負かし、私たちの王です。
- これは彼らの人生の大逆転です。そして、それはあなたの人生においても大逆転となる可能性があります。

回答: これが私たちの物語です

悔い改めという言葉は、文字通り、向きを変えるという意味です。

- よく誤解されるので、その言葉は評判が悪い。
- この写真は、あなたが自分の道を歩いているところです。イエスが誰であるかを理解しています。

彼は彼がいると言い、あなたは右を向いて彼の方を向いています。

● 今日、あなたもコースを逆にすることができます。自分の道から離れ、真の王に向かってください。

- イエスはあなたを彼の王国に招待します。
- どういう意味ですか？
- 私たちは、イエスが私たちを罪から救い、死んだら天国に行き、地獄に行かないことをしばしば強調します。一種の「脱獄カード」神学。
- これは物語の重要な部分ですが、彼には他にもたくさんがあります。
- 彼は生よりも死後の生に関心がある

死後。 豎琴と雲に乗った、肉体を失った魂のイメージを永遠に片付けなさい。 イエスは、変身した肉体を持って死からよみがえっただけではありません。 彼はそれを、私たちとすべての被造物に最終的に来ることのしるしとして行いました。 復活。

- 肉体的でありながら、罪によって壊れないこと。

- 破壊ではなく再生。
- 新人類、新天地、新地。
- イエスが御国に参加するようあなたを招いたとき、それは大逆転です  
そして万物の復元プロジェクト。
- これが何を意味するか知っていますか？
- いつの日か、神がこの壊れた地球を更新し、私たちが罪によって傷ついた変容した肉体でそれを抑制することができるようにします。有効期限はありません。死なない。病気はありません。痛みはありません。悪はありません。

■ 彼は、墓の女たち、ペトロ、11人、エマオへの道のりの弟子たちと同じように、あなたを日々新しくしたいと思っています。

- そして彼はあなたが彼のような未来の希望に復活することを望んでいます。
- 復活祭の物語は、イエスが「天に昇る」ことで終わります。
- 興味深いことに、これが何を意味するのかについて長い説明はありません...それは新約聖書の後半に出てきます...しかし、ここにこの声明があります  
イエスが天に昇ること。

- 
- 私たちはよく彼を空に浮かんでいると考えます。
- しかし、1世紀の聴衆は、これが再び、  
見事な言葉使い。

■ カエサルは自分の主張によってローマの王位に就いた  
天の神聖な権利、彼は神の息子でした。

■ ルークは、カエサルと彼が統治し代表する王国は、  
真の王であるイエスの偽者です。

● 物語の結末は、あなたに選択を迫るものです。天の玉座に座し、現在と来るべき時代に彼の人生を共にする真の宇宙の王に従うか、それとも王と王国に従うかです。この世界は彼らの最終的な終焉に。

● 彼は穏やかで、親切で、忍耐強いですが、苦しみ、死に、復活によって死を打ち負かしたので、あなたは彼に帰ることができました。

● 弟子たちのように、すべての答えを持っている必要はありません。使徒パウロは次のように答えています。

“すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われる。”

ローマ人への手紙 10:9 口語訳

「イエスは主です」- 私の真の王。これは忠誠の表明であり、その後続く祝福の約束です。そのシンプルで謙虚な行為は今でもできます。

私たちはあなた方全員にイエスに応答する機会を与えます。このスペースはあなたのためです..

+祈り - 一緒に祈るためにここにいる人々のチームは、あなたの隣にいる人に寄りかかって、彼らに祈るように頼み、時間をかけて自分で祈る.

**+バプテスマ - 7 と 9 の場合 - あなたもバプテスマを受けることができます (これらの人々はすでに王イエスに応答しています)**

+ 話し言葉についての振り返り - すぐに、この話を話し言葉を通して振り返るスペースがあります。

+Song and Celebrate - 私たちは歌い、神が私たちのためにしてくださったことを宣言します。

**祝祷:**

あなたが真の宇宙の王に従い、彼の新たな人類の一部であり、未来にいき、万物の逆転と更新を望む人々でありますように。アメン。